

考古学  
【INDEX】

◇旧石器～縄文時代

尾崎 沙羅	旧石器～縄文時代	文化資源課 史跡・埋蔵文化財担当
君島 勝秀	縄文時代	自然の博物館 企画・広報、自然担当
倉澤 麻由子	縄文時代	歴史と民俗の博物館 企画担当
田邊 えり	縄文時代	さきたま史跡の博物館 史跡整備担当
別所 鮎実	縄文時代	さきたま史跡の博物館 資料・展示担当
村田 章人	縄文時代	さきたま史跡の博物館・嵐山史跡の博物館兼務 館長



## ◇弥生～古墳時代

書上 元博	弥生時代	歴史と民俗の博物館 展示、資料調査・活用担当
西口 正純	弥生時代	さきたま史跡の博物館 広報・学習支援担当
佐藤 康二	弥生時代	県民生活部 広聴広報課(平和資料館)
石坂 俊郎	弥生～古墳時代	嵐山史跡の博物館 学芸担当
関 義則	弥生～古墳時代	さきたま史跡の博物館の博物館 広報・学習支援、展示、史跡整備担当
利根川 章彦	弥生～古墳時代	県民生活部 広聴広報課(平和資料館)
岩田 明広	考古学理論 弥生～平安時代	嵐山史跡の博物館 学芸担当
青笹 基史	古墳時代	さきたま史跡の博物館 資料・展示担当
岡本 健一	古墳時代	歴史と民俗の博物館 企画、学習支援担当
末木 啓介	古墳時代	文化資源課 文化財活用、博物館・美術館、指定文化財、史跡・埋蔵文化財担当
田中 正夫	古墳時代	歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当
中井 歩	古墳時代	文化資源課 史跡・埋蔵文化財担当
ナワビ アハマッド矢麻	古墳時代	さきたま史跡の博物館 史跡整備担当
伴瀬 宗一	古墳時代	自然の博物館(川の博物館勤務)
山田 琴子	古墳時代	さきたま史跡の博物館 資料・展示担当
若松 良一	古墳時代	文書館 地図センター担当


## ◇古代～中世

宮原 正樹	古代	文化資源課 史跡・埋蔵文化財担当
水口 由紀子	古代・中世	歴史と民俗の博物館 企画、学習支援、展示、資料調査・活用担当
栗岡 真理子	中世	さきたま史跡の博物館 史跡整備担当
堀口 智彦	中世	歴史と民俗の博物館 展示担当


## ◇旧石器～縄文時代



尾崎 沙羅	旧石器～縄文時代	① 経歴・職歴 県立歴史と民俗の博物館を経てR2.4より文化資源課職員
おざき さら		② 過去の業務実績 平成30年度民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」 平成30年度企画展「埼玉の官衙」(副担当)
	先史時代における資源利用	③ 研究業績等 2017「北海道・後期旧石器時代における尖頭器生産と黒曜石原産地」考古学集刊13号 2019「更新世終末期の北海道における石器石材の獲得と消費—複数の石器群の比較を通して—」駿台史學165号 ④ メッセージ 旧石器時代や縄文時代といった先史時代に興味があります。マイナーな時代ですが、常設展示や企画展等を通して、太古の人々に興味を持って頂ければと思います。
君島 勝秀	縄文時代	① 経歴・職歴 (財)埋蔵文化財調査事業団、文化財保護課、歴史資料館(嵐山史跡の博物館)、さきたま史跡の博物館、文化資源課、歴史と民俗の博物館を経て、令和2年度より自然の博物館
きみじま かつひで		② 過去の業務実績 「五関中島遺跡」「滝の宮坂遺跡」「外東遺跡」「谷ツ遺跡」他 (埼玉県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告) 「後北条氏の城」(嵐山史跡の博物館企画展図録) 「稻荷山出現以前の古墳」「祈りとまじないの考古学」「原始古代の職人集団」 (さきたま史跡の博物館企画展図録)
	縄文時代の集落と生業	③ 研究業績等 「縄文時代早期後葉土器について」(歴史資料館研究紀要) 「赤城遺跡出土みみずく土偶の修復」(さきたま史跡の博物館紀要) ④ メッセージ 自然の博物館で、企画・広報、展示、普及活動全般を担当しています。研究分野では、縄文時代の集落における空間利用と生業との関係性について興味を持っています。

倉澤 麻由子	縄文時代	①経歴・職歴 さきたま史跡の博物館 資料・展示担当、文化資源課史跡・埋蔵文化財担当を経て、今年度から歴史と民俗の博物館 企画担当 ②過去の業務実績 テーマ展「縄文の不思議な世界」(さきたま史跡の博物館) ③研究業績等 「旧長瀬総合博物館からの寄贈資料について—富山県朝日貝塚の骨角器—」 (『県立史跡の博物館紀要』9) ④博物館の面白さを多くの方に知って頂けるように努めて参ります。
くらさわ まゆこ		
	縄文時代の集落や土器の変遷	
田邊 えり	縄文時代	① 経歴・職歴 R2 さきたま史跡の博物館 史跡整備担当学芸員 ② 過去の実務実績 なし ③ 研究業績等 H31「付着物質の分析による製塩土器の再検討—関東地方の縄文時代における事例—」『筑波大学先史学・考古学研究』第30号 ④ メッセージ 新規採用で、さきたま史跡の博物館に配属されました。令和2年3月に特別史跡に指定された埼玉古墳群の重要性を守り、発信するため、史跡整備の点からより有効な保存・活用に努めてまいります。
たなべ えり		
	縄文時代後期の社会複雑化	
別所 鮎実	縄文時代	プロフィール ①R2年度～さきたま史跡の博物館学芸員 ②なし ③H31 「縄文時代後期中葉における器種間関係からみた土器製作」『駿台史学』165号 ④資料・展示担当として、さまざまな資料、特にさきたま古墳群の魅力をお伝えできるよう、広い視野で学芸業務および個人研究に取り組んでいきたいと思ひます。
べっしょ あゆみ		
	縄文土器型式土器からみる縄文社会先史文化	

村田 章人	縄文時代	① 経歴・職歴 (財)埼玉埋蔵文化財調査事業団派遣、文化財保護課、県立博物館、生涯学習課、さきたま資料館、桶川市派遣、生涯学習文化財課史跡担当、平和資料館、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、生涯学習文化財課副課長を経て、現在は、さきたま史跡の博物館長兼嵐山史跡の博物館長
むらた あきと		② 過去の業務実績 H4「シンポジウム縄文時代後・晩期安行文化」パネラー H12「発掘された日本列島」展運営(県立博物館)、 H17「考古学が解く食と技」企画・設営(さきたま資料館) ③ 研究業績等 H12「羊歯状文の施文原則」埼玉考古第35号 H20「縄文土器の製作」単行本共著(『縄文時代の考古学』7) H30「1910年代の先史考古学における「系統」と「式」」縄文時代30号など ④ メッセージ さきたま史跡の博物館は国指定特別史跡埼玉古墳群、嵐山史跡の博物館は国指定史跡菅谷館跡という、いずれも埼玉県を代表する国指定史跡の保存と活用に取り組みながら、考古学や中世史などの専門分野に関する事業を行っています。今後とも魅力ある事業展開、質の高い情報の発信に努めていきたいと思っております。個人的には縄文土器に見られる地域間の関係や、縄文時代研究そのものの歴史を勉強しています。
	・縄文土器の研究 ・縄文時代研究の成り立ち	

## ◇弥生～古墳時代



書上 元博	弥生時代	① 経歴・職歴 県立博物館学芸員に採用後、文化財保護課、(財)埋蔵文化財調査事業団、桶川市教育委員会、平和資料館、生涯学習文化財課、さきたま史跡の博物館(兼嵐山史跡の博物館)、歴史と民俗の博物館などで勤務し、定年再任用後、さきたま史跡の博物館を経て、現在、歴史と民俗の博物館の展示担当、資料調査・活用担当の主席学芸主幹。
かきあげ もとひろ		② 過去の業務実績 H10 特別展「女性埴輪 その装いとしぐさ」運営(埼玉県立博物館) H24 埋蔵文化財担当職員等講習会講師(文化庁・広島県教育委員会・東京都教育委員会) ③ 研究業績等 S63 「東日本弥生文化黎明期の墓制に関する覚書」『東日本の弥生墓制-再葬墓と方形周溝墓』 H13 「弥生時代の容器形土偶と乳房」乳房文化研究会((株)ワコール人間科学研究所内) H18 「四十坂遺跡」『岡部町史 原始・古代資料編』岡部町教育委員会 ④ メッセージ 学芸員の立場に戻って、博物館の現場で仕事することに大きな喜びを感じています。若くてやる気に満ちた学芸員の皆さんと共に楽しく良い仕事をしていけたらと思っています。
	東日本の弥生時代の土器や墓制	

西口 正純	弥生時代	① 経歴・職歴 文化財保護課、歴史と民俗の博物館、(財)埋蔵文化財調査事業団等に勤務し、平成30年3月定年退職。現在は、再任用職員としてさきたま史跡の博物館に所属。
にしぐち まさずみ		② 過去の業務実績 S57年鍛冶谷・新田口遺跡発掘調査、報告書 H7年中里前原北遺跡発掘調査、報告書 H16「今戸焼」展運営(川の博物館) H17「水辺の宝石」かわせみ展運営、展示図録作成(川の博物館) H24「発掘された木の道具」展運営、展示図録作成(歴史と民俗の博物館)
	弥生土器 弥生時代後期	③ 研究業績等 H4「伝児玉町生野山古墳群出土の動物埴輪(鹿)」県立博物館 H19「魚形埴輪」-伝深谷市本田出土- H20「第二展示室の企画展示について」、川の博物館 H21「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」、(分担執筆)「鉄砲山古墳の地中探査実験について」 H25特別展図録「発掘された木の道具」埼玉県立歴史と民俗の博物館 H26『わくわく埼玉県歴史ロマンの旅』(共著) ④ メッセージ 教育普及業務を担当しています。
佐藤 康二	弥生時代	① 経歴・職歴 川の博物館、歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館等を経て現在は平和資料館駐在です。
さとう こうじ		② 過去の業務実績 H14「めざめろ古代」展運営(歴史と民俗の博物館)。さきたま史跡の博物館では埼玉古墳群の調査と整備を担当していました。現在は平和資料館で学芸業務担当です。
	弥生時代から古墳時代への移行期に関心があります。	③ 研究業績等 H24「埼玉古墳群周辺確認調査報告」研究紀要7号(さきたま史跡の博物館)他。 ④ メッセージ 平和資料館に是非お越しください。







石坂 俊郎	弥生～古墳時代	① 経歴・職歴 (財)埼玉埋蔵文化財調査事業団、文化財保護課、文書館、桶川市派遣、嵐山史跡の博物館、さきたま史跡の博物館、生涯学習文化財課、平和資料館、歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館そして自然の博物館と転々、R元年度末そこで定年退職後、主任専門員兼学芸員としてR2年度より嵐山史跡の博物館勤務。
いしざか としろう		② 過去の業務実績 H17 シンポジウム「東日本における古墳の出現」参加(東日本前方後円墳研究会)
	土器・集落	③ 研究業績等 H17 「五領遺跡出土土器の今昔」歴史資料館研究紀要27号 歴史資料館 H19 「水辺のスケッチ」金鈴24号 H20・21 「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器」(1)・(2)史跡の博物館紀要2・3号 H29・30・R1・2「屋内祭祀の舞台」・「同」(2)・「同」(3)・「同」(4) 史跡の博物館紀要(10)・(11)・(12)・(13)号 ④ メッセージ サラリーマン人生も終末期段階突入。新段階の意義付けを、私生活含めて設計中。 ⑤ その他 私的には、自称専門屋としての痕跡を残すべく細々勉強中。ここ数年、狭いテーマを執念深く追うことにはまっている。そうすると、何か見えてくるような気にはなれる。
関 義則	弥生～古墳時代	① 経歴・職歴 県立博物館学芸員に採用後、文化財保護課主任、県立博物館主任学芸員、生涯学習文化財課主査、平和資料館学芸担当部長、生涯学習文化財課副課長・さきたま史跡の博物館長兼嵐山史跡の博物館長・歴史と民俗の博物館長を経て定年退職。現在は、さきたま史跡の博物館主席学芸主幹 H23～H30 早稲田大学非常勤講師、R02～国土館大学非常勤講師
せき よしのり		② 過去の業務実績 S60特別展「山西省文物展」(県立博物館) H1特別展「古墳～飾大刀の世界～」(県立博物館) H8特別展「太平記絵巻の世界」(県立博物館) H11特別展「アイヌの四季と生活」(県立博物館)ほか 最後の展示となった「アイヌの四季と生活」は特に思い出に残る展覧会です。
	・古墳の副葬品研究 ・古墳の景観立地分析 ・発火具及び発火法の歴史	③ 研究業績等 論文等 H12「腹帯留金具をもつ鞍の性格」大塚初重先生頌寿記念論集 東京堂出版 H14「県内出土の火打金」埼玉考古 第37号 埼玉考古学会 H24「埼玉古墳群の構成原理」県立史跡の博物館紀要第6号 ほか 発表等 S60「小敷田遺跡の調査」日本考古学協会研究発表 H22「埼玉古墳群からみた東国古墳文化」岡山大学創立60周年シンポジウム H24「出土馬具から見た一夜塚古墳」朝霞市博物館 ほか ④ メッセージ 古墳から出土する副葬品の編年研究を専門とする“金物屋”ですが、近年は古墳の立地や景観分析から地域社会の政治・社会構造を解明することに関心をもっています。





利根川 章彦	考古学 (弥生～古墳)	① 経歴・職歴 (財)埋蔵文化財調査事業団調査員、県立博物館学芸員、さきたま資料館学芸員、歴史資料館学芸主幹、自然の博物館学芸主幹兼川の博物館学芸主幹、さきたま史跡の博物館学芸主幹、歴史と民俗の博物館学芸主幹、嵐山史跡の博物館学芸主幹等を経て、現在埼玉県平和資料館主任専門員
とねがわ あきひこ		② 過去の実績 H4 さきたま資料館企画展「さきたま将軍山古墳と銅鏡」担当 H6 「埼玉県古墳詳細分布調査報告書」編集・刊行担当
	<p>・埼玉における古墳の出現 ・関東地域の大型古墳の動向</p>	<p>③ 著作・研究実績等 H6 「東国の群集墳」(『古代を考える 東国と大和王権』(吉川弘文館)所収) H13 「稲荷山古墳の築造年代に関する覚書」『調査研究報告』第15号(さきたま資料館) H21 「サキタマ王権論へのプレリュードー埼玉稲荷山古墳と高崎市八幡観音塚古墳の関係性をめぐってー」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第4号 H26 「稲荷山古墳と武蔵の政権」(『歴史読本』2015年1月号(KADOKOWA)所収)</p> <p>④ メッセージ 平和資料館の展示、資料受入れ、資料の館外貸出・特別利用、博物館団体関係事務等の仕事をしています。 研究面では埼玉を中心とした東日本領域の古墳出現過程、及び埼玉古墳群築造期間の全関東地域の大型古墳築造の歴史的推移、東日本の古墳時代土器の編年的特徴や地域性等について考えています。</p>
岩田 明広	考古学理論・弥生～平安時代	① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団、兵庫県埋蔵文化財調査事務所、川の博物館、平和資料館、さきたま史跡の博物館、歴史と民俗の博物館勤務等を経て、嵐山史跡の博物館で勤務しています。
いわた あきひろ		② 過去の実績 H15 特別展「花火―夜空を彩る大輪の華―」(川の博物館) H17 企画展「山碧く里うるわし 唱歌の世界」(埼玉県平和資料館) H30 企画展「越山―上杉謙信侵攻と関東の城―」(嵐山史跡の博物館) R1 企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか」(嵐山史跡の博物館) 他に遺跡の発掘調査 など
	<p>考古学理論や窯業としての須恵器制作を研究しています。</p>	<p>③ 研究業績等 弥生時代から平安時代の土器・須恵器、古墳、古代から近世の開発史などの著作物があります。</p> <p>④ 今後の取組み 歴史的なできごととその背景と、現在の私たちの考え方や生活のつながりに視点をおいて事業に取り組んでいこうと考えています。</p>


青笹 基史	古墳時代	① 経歴・職歴 H29 歴史と民俗の博物館 展示担当 学芸員 H30～ さきたま史跡の博物館 資料・展示担当 学芸員
あおささ もとふみ		② 過去の業務実績 H30 さきたま史跡の博物館 テーマ展「埼玉の平安」 R01 さきたま史跡の博物館 企画展「徹底解剖！埼玉古墳群～副葬品から探る被葬者像～」
	古墳副葬矢鏃の生産・流通	③ 研究業績等 ■ 報告・論文 H29(報告書)「埴輪」『永明寺古墳』羽生市教育委員会 H29「附 弘法寺・法皇塚古墳のGPR(レーダー)探査成果報告」『市史研究 いちかわ』第8号 H31「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬矢鏃の検討」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第12号 R01「秩父郡小鹿野町下塚居古墳遺構の検討」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 「伝栃木県出土騎馬人物埴輪の検討-写真・実測図・SfM/MVSによる三次元計測による資料化-」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 ■ 口頭発表 H30 「後・終末期古墳副葬矢鏃の口巻の装着方法の復元」土曜考古2月例会 R01 「古墳時代の神奈川県・東京都・埼玉領域における社会構造と刀剣」第4回古代歴史文化講演会 「埼玉県の形象埴輪配置-埼玉古墳群を中心として-」埴輪研究会第20回大会 ④ メッセージ さきたま史跡の博物館にて資料・展示担当の学芸員をしております。今年度の夏から秋にかけて開催される企画展「盾持人埴輪の世界」を通じて埼玉県の歴史について情報を発信してまいります。
岡本 健一	古墳時代	① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団派遣、さきたま資料館(当時)、文化財保護課、民俗文化センター、歴史と民俗の博物館、桶川市教委派遣、生涯学習文化財課、宮城県教委への震災復興支援職員、生涯学習文化財課、さきたま史跡の博物館を経て、現在、歴史と民俗の博物館勤務。
おかもと けんいち		② 過去の業務実績 圏央道関係遺跡、埼玉古墳群將軍山古墳整備、熊谷市下田町遺跡、南三陸町新井田館跡等の発掘調査及び調査報告書、H9『さきたまに馬がやってきた』展示等
		③ 現在取り組んでいる研究 とくに時代を限定せずに、日本と朝鮮半島の文化交流について興味をもっています。 ④ 今年度の取り組み 博物館の魅力を広く知っていただけるよう、情報発信に力を入れていきます。

末木 啓介	古墳時代	<p>① 経歴・職歴 歴史資料館(現嵐山史跡の博物館)、川の博物館、平和資料館、さきたま史跡の博物館、生涯学習文化財課、嵐山史跡の博物館、さきたま史跡の博物館を経て文化資源課に勤務。</p>
すえき けいすけ		<p>② 過去の業務実績 発掘調査は上里町中堀遺跡など、展示会は川の博物館で「水辺のまつり」、平和資料館で「戦時埼玉の食卓」「戦中戦後の鉄道輸送」「戦時中の手紙に見る家族の姿」、嵐山史跡の博物館では「中世黎明」を担当しました。</p>
	集落研究	<p>③ 研究業績等 古墳時代から平安時代の集落遺跡を研究テーマにしています。最近「カマドの支脚利用にみられる集落内のグループー古墳時代後期の埼玉県<small>の</small>遺跡を中心にー」『史跡の博物館研究紀要10号』を書きました。</p> <p>④ メッセージ 集落遺跡の研究は地味かもしれませんが、古墳群とムラとの関係など当時の社会を知る重要な手がかりが隠されています。そうした点を少しでも明らかにできればと思っています。</p>
田中 正夫	古墳時代	<p>① 経歴・職歴 さきたま資料館、(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団に派遣、文化財保護課、県立博物館、民俗文化センター、歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館を経て、歴史と民俗の博物館</p>
たなか まさお		<p>② 過去の業務実績 H20「彩の国埼玉 古墳時代の優品」展企画運営(さきたま史跡の博物館)等</p>
		<p>③ 研究業績等 H2「小沼耕地遺跡」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第100集 H5「新屋敷遺跡ーA区ー」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第140集等</p> <p>④ メッセージ 歴史と民俗の博物館を楽しく学んでいただける場にしたいと思います。</p> <p>⑤ その他 ここ18年来博物館で、環境に配慮した新しい資料保存のシステムである、総合的有害生物管理(IPM)の推進に努めてきました。</p>


中井 歩	古墳時代	<p>① 経歴・職歴 H28～さきたま史跡の博物館史跡整備担当学芸員、H31～文化資源課史跡・埋蔵文化財担当</p>
なかい あゆみ		<p>② 過去の実績 H28～H30 埼玉古墳群発掘調査(鉄砲山古墳、二子山古墳、奥の山古墳) H29 さきたま講座「古墳時代の銅鏡について」 H30第7回ミュージアムフォーラム「水と銅鏡—映し出される古墳時代の世界—」</p>
	日本列島における銅鏡の生産と流通	<p>③ 研究業績等</p> <p>■報告・論文 H30「紫金山古墳出土勾玉文鏡のモデルと生成過程」『古文化談叢』80 H30「古墳時代前期における小型鏡の系譜と変遷—重圈文鏡・珠文鏡を対象として—」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第11号 H31「《速報》二子山古墳墳丘造出しの調査について—平成29年度発掘調査成果を中心として—」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第12号</p> <p>■口頭発表 H24 The creation of Japanese bronze mirrors : The study of the Magatamamon mirror found at Shikinzan Kofun, The 5th World Conference of the Society of East Asian Archaeology H29「古墳時代前期における小型鏡の意義—出土状況の検討から—」『平成29年度九州史学会』</p> <p>④ メッセージ 今年度こそこれまで続けてきた小さな鏡の研究をまとめて、次の研究段階に進みたいと思っています。</p>
ナワビ アハマッド矢麻	古墳・古代	<p>① 経歴・職歴 H31年度～現在 さきたま史跡の博物館 史跡整備担当</p>
なわび あはまっどやま		<p>② 過去の業務実績 H31年度 『特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳 発掘調査報告書』(分担)</p>
	デジタル技術を用いた考古学的研究・シルクロードの古代寺院	<p>③ 著作・研究実績等 (論文等) H28「A Non-Destructive Method for Archaeological Research using Ground Penetrating Radar: A Case Study in Chiba Prefecture, Japan」『WASEDA RILAS JOURNAL』No.4 H31「富岡重憲コレクションの仏伝図浮彫に関する基礎的研究」『早稲田大学會津八一記念博物館』20号(共著) R1「《速報》平成30年度奥の山古墳発掘調査成果報告-外堀南西隅角部の発掘調査について-」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 R1「UAVを用いた埼玉古墳群の測量について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 (発表等) H31「京焼登り窯の三次元測量①-石黒宗磨窯の事例-」『日本文化財科学会 第36回大会』(共同)</p> <p>④ メッセージ 日本を含めた東アジア～シルクロードの仏教寺院に関心を持っています。古墳・寺院などの遺跡の非破壊調査や、三次元情報の取得・活用など、デジタル技術を用いた調査研究にも取り組んでおり、史跡・博物館の魅力を発信していきます。</p>





伴瀬 宗一	古墳時代	① 経歴・職歴 自然の博物館学芸員、宮城県派遣(考古学)、歴史と民俗の博物館学芸員、岩手県派遣(考古学)
ばんせ そういち		② 過去の実績 H14 サイエンスチャンネル「母校へ行こう-学芸員の仕事-」主演
	考古学分野における遺跡・遺物の形成過程(タフォノミー)	③ 著作・研究実績等 「私市城発掘調査報告書」「菖蒲城発掘調査報告書」等 ④ メッセージ 個人研究では、考古学分野におけるタフォノミーについて興味を持っています。タフォノミーとは、地質学分野における化石等の形成過程という概念ですが、考古学における遺跡や遺物にも形成過程があり、そうした視点から遺跡・遺物を考えていきたいとおもいます。
山田 琴子	古墳時代	① 経歴・職歴 生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、さきたま史跡の博物館史跡整備担当、さきたま史跡の博物館資料・展示担当
やまだ ここ		③ 研究業績等 報告書・論文等
	古墳時代の鉄製甲冑の製作技術	H17「金古如来古墳群」群馬町教育委員会 H21,24「益子天王塚古墳出土遺物の研究」早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 H22「巢鴨町遺跡」,「染井遺跡」豊島区教育委員会 H23「巢鴨遺跡」豊島区教育委員会 H29「将軍山古墳の新発見資料について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第10号 H30「小鹿野町小鹿野小学校出土の鉄鏃について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第11号 H30「4 玉作り技術の展開-東日本の玉作り-」『玉 -古代を彩る至宝-』古代歴史文化協議会編 H31「手工業生産から見た埼玉県の古墳時代」『第24回 東北・関東前方後円墳研究会発表要旨』東北・関東前方後円墳研究会 R01『特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書』埼玉県教育委員会 R01「第3章第3節 武具」『入石塚古墳出土遺物整理報告書』坂戸市教育委員会 講演等 R01 「第22回企画展記念講演 東日本の玉作り-古墳時代前期を中心に-」土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場 ④ メッセージ 令和2年度よりさきたま史跡の博物館の資料・展示担当として、展示業務を担当しています。どうしたら埼玉古墳群について色々な方に分かりやすくお伝えできるか、日々考えています。

若松 良一	古墳時代 地域史・文学	① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査研究員、さきたま資料館学芸員、県立博物館主任学芸員、嵐山史跡の博物館学芸主幹GL、自然の博物館学芸主幹GL、生涯学習文化財保護課主幹(さいたま文学館在勤)などを経て、文書館勤務。 H12 法政大学非常勤講師
わかまつ りょういち		② 過去の業務実績 S63 特別展「はにわ人の世界」開催、図録刊行(さきたま資料館) H18 稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書『武蔵埼玉 稲荷山古墳』刊行(さきたま史跡の博物館) H21 企画展「秩父平氏 畠山重忠とその時代」を開催、シンポジウム、特別講演会を実施(嵐山史跡の博物館) H23 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと秩父のおごつおう」開催準備・図録発行(川の博物館) H23 GLとして県内のカエデ全種を調査・移植し、観察園「カエデの森」を構内にオープン(自然の博物館) H24 テーマ展「関東大震災と東日本大震災～文学は震災とどう向き合ってきたのか～」を開催 H25 企画展「近代俳句の革命児 水原秋櫻子」を開催・図録刊行 H26 収蔵品展「一子規門の奇才—俳毒庵 中野三允—」企画展「利根川と文学～生活・風土・人物・災害をめぐる作品～」を開催・図録刊行 H27 収蔵品展「秋山正香の生涯と作品～足袋の街行田が生んだ作家～」特集展示「大西巨人の世界」を開催。企画展「考古学と文学～考古学者・鉄剣・詩人の見た古墳」を準備。図録刊行 H28 地図コーナー展示 絵図から地図へ「城下町の近代化—忍・川越・岩槻—」を開催
		<p>③ 研究業績 S60 『諏訪山33号墳の研究』(北武蔵古墳文化研究会刊行) H3 古墳時代の研究第9巻『埴輪』分担執筆(雄山閣出版) H15 「猪鹿埴輪論」『法政考古学』第30集(法政考古学会) H23 『秩父平氏の盛衰』編著(勉誠社) H24 「井辺八幡山古墳の形象埴輪とその解釈」『古代学研究』第195号(古代学研究会)・パンフレット『関東大震災と東日本大震災—文学は震災とどう向き合ってきたのか—』(さいたま文学館) H25 企画展図録『近代俳句の革命児 水原秋櫻子』(さいたま文学館)・「職能の衣装—埴輪表現におけるその非日常性—」『古墳時代の考古学』6人々の暮らしと社会(同成社) H26 企画展図録『利根川と文学～生活・風土・人物・災害をめぐる作品～』(さいたま文学館) H27 企画展図録『考古学と文学～考古学者・鉄剣・詩人の見た古墳』(さいたま文学館) H28 「歴史地理学的に見た埼玉古墳群と荒川舟運—戸田市南原古墳群出土の船の彩画のある人物埴輪を出発点として」『文書館紀要』第30号(埼玉県立文書館) H29 「古墳葬制の変革と横渟屯倉の設置時期—当館寄託井上淑蔭資料の石櫃畧図を契機として」『文書館紀要』第31号(埼玉県立文書館) H31 「蚕糸盛業地における郵便線路と馬の利用 —埼玉県立文書館寄託の旧本庄郵便局史料から—」『文書館紀要』第32号(埼玉県立文書館)・『生活に役立つ地図—マイホーム・防災・子育て・レジャーにも—』記念企画展図録(埼玉県立文書館)</p> <p>④ メッセージ 専攻は考古学の中でも古墳時代、特に埴輪に関心がありますが、畠山重忠、忍藩の歴史と人物、埼玉県の郷土食、古墳時代の舟運、埼玉県の歴史地理学、文学(郷土作家・俳句)なども研究対象としています。</p>

## ◇古代～中世

宮原 正樹	古代	①経歴・職歴 平成27年採用、県立歴史と民俗の博物館学芸員、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当を経て文化資源課史跡・埋蔵文化財担当
みやはら まさき		②過去の業務実績 H28特別展「高麗郡1300年—物と語り—」(歴史と民俗の博物館) H28企画展「縄文の空間—暮らしと願い—」(歴史と民俗の博物館) H28歴史民俗講座「瓦からみた埼玉の古代寺院」(歴史と民俗の博物館)
	古代瓦、古代寺院、国分寺	③研究業績等 H27「九世紀武蔵国における造瓦体制—模骨文字瓦の生産とその背景—」『国土館史学』第20号 H28「瓦からみた古代高麗郡」『特別展高麗郡1300年 展示図録』(歴史と民俗の博物館) R1「東金子窯跡群」『古代東国の国分寺瓦窯 古代東国の考古学5』高志書院 R1「武蔵国分寺創建瓦の生産」『南比企窯・東金子窯と武蔵国分寺の瓦2』古代の入間を考える会 R2「東国の飛鳥時代の瓦」『古代東国の考古学6』高志書院 ④メッセージ 県内の埋蔵文化財保護行政に携わっています。個人の研究は国分寺創建期以降、平安時代までの古代の瓦を研究しています。関東で唯一国分寺の無い埼玉県ですが、国分寺の葺を飾った瓦を生産した窯跡や関東屈指の古代寺院など素晴らしい古瓦が出土する遺跡がたくさんあります。さまざまな場面で瓦の魅力を届けたいと思っています。
水口 由紀子	古代・中世	①経歴・職歴 歴史資料館、歴史と民俗の博物館、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館学芸担当を経て、平成31年4月から歴史と民俗の博物館副館長
みずぐち ゆきこ		②過去の業務実績(特別展の企画・運営・図録執筆) H17 県立博物館特別展「由来伝来・名刀の一千年」 H18 歴史と民俗の博物館特別展「誕生武蔵武士」 H26 さきたま史跡の博物館企画展「ハニワの世界」 H27 さきたま史跡の博物館企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」
	考古学の手法で中世成立期(平安時代から鎌倉時代)について研究しています。	③研究業績等 H16 「埋蔵遺跡が語る十二世紀の南関東」『中世東国の世界2』所収(高志書院刊) H20 「武蔵武士と経塚」『東国武士と中世寺院』所収(高志書院刊) H20 「東松山市利仁神社経塚」歴史と民俗の博物館紀要第3号 H28 「根岸武香と利仁神社経塚」埼玉県立史跡の博物館紀要第9号 H28 「武蔵・下野の土器」『中世武士と土器(かわらけ)』(高志書院刊) H29 「平沢寺跡出土経筒の銘文について」埼玉県立史跡の博物館紀要第10号 H30 「旧長瀬総合博物館から寄贈された和同開珎について」埼玉県立史跡の博物館紀要第11号 H31 「板橋宿飯田家に伝来した土師器について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第13号 R1 「東松山市利仁神社経塚出土瓦製経筒について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第14号 ④メッセージ 「ディスカバー 埼玉」ができるように、さまざまな事業を通して埼玉県の歴史や民俗について皆様に情報発信していきますのでよろしくお願いいたします。



栗岡 真理子	中世	① 経歴・職歴 歴史資料館、嵐山史跡の博物館、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、文化資源課指定文化財担当、さきたま史跡の博物館で勤務
くりおか まりこ		② 過去の業務実績 埼玉県中世石造遺物調査、企画展「戦国の城」、企画展「中世の館と城」、企画展「中世 合戦と災害」
	五輪塔や宝篋印塔などの中世に作られた石造物	③ 著作・研究実績等 『埼玉県中世石造遺物調査報告書』、「埼玉県の中世五輪塔編年案」(歴史資料館『研究紀要』第23号)、「埼玉県の中世宝篋印塔の変遷について」(歴史資料館『研究紀要』第24号)、「菅谷館跡出土遺物の再検討」(歴史資料館『研究紀要』第25号)など ④ メッセージ 合戦の時代「中世」に作られた五輪塔や宝篋印塔などの石造物について研究しています。石造物の研究から、戦乱の世の中に生きていた人々の精神世界に少しでも、触れていくことができればと思っています。現在は埼玉古墳群の史跡整備に関する仕事をしております。
堀口 智彦	中世	① 経歴・職歴 さきたま史跡の博物館史跡整備担当、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、福島県教育庁文化財課派遣を経て、歴史と民俗の博物館展示担当学芸員。
ほりぐち ともひこ		② 過去の業務実績 H26 鉄砲山古墳発掘調査(さきたま史跡の博物館) H30 企画展「埼玉の官衙—律令時代の“お役所”—」運営(歴史と民俗の博物館) R1 企画展「北沢楽天と時事漫画」運営(歴史と民俗の博物館)
	中世土器の生産と流通や中世城館	③ 研究業績等 H26 「平成25年度 埼玉古墳群範囲確認調査の報告」史跡の博物館研究紀要第8号 ④ メッセージ 今年度は、特別展「銘仙」と常設展示室第1室・2室の展示・管理を主に担当します。資料の面白さを伝えられるような分かりやすい展示を心がけます。